



①身近な防災(家庭でできる防災)
②寿東部地区多文化共生防災ネットワークの必要性について

日時 6/23(月)19:00~

会場 区役所7階会議室

参加者 46人



開催趣旨

発災時、「すぐに地域防災拠点に行き、そこで過ごさなければならない」という認識が多い中、実際は在宅避難が中心となることが見込まれるため、家庭内の防災をあらためて見直しました。また、外国籍住民も安心して避難等ができる仕組みづくりについて検討しました。

寿東部連合町内会 渡邊 真一 会長



内容

【説明】

- ① 発災直後から在宅避難までの基本的な流れや必要な備えについて鈴木副会長と各町内会の会長から説明がありました。
- ② 言葉や文化の異なる外国籍住民の方々には発災時に情報収集や避難に戸惑うことや、それに対応するためのネットワークづくりの必要性について、浅野副会長から説明がありました。

【グループ討議】

外国籍住民の方々が困らないために、町内会ができることについてグループごとにアイデアを出し合いました。



参加者の声

- ・多言語に対応したアプリやウェブサイトの作成は良いと思いました。
- ・町内会の行事等に参加してもらうなど、日頃から外国籍の方と顔なじみの関係になることが大切だと思いました。